

「山崎家及び白井家別荘（セキスイハウスA型）」が 「軽井沢ブルー・プラーク」に認定

積水ハウス株式会社が所有する、国産工業化住宅の第一号として国の有形文化財（建造物）に登録された「山崎家及び白井家別荘（セキスイハウスA型）」が、このたび長野県軽井沢町の事業である「軽井沢ブルー・プラーク」に認定されました。

■ 「軽井沢ブルー・プラーク」制度とは

「ブルー・プラーク」はイギリスで歴史的な出来事があった建物や著名人に関わる家などに銘板を設置し、歴史を継承することを目的に約150年前に始まった制度です。軽井沢町では「ブルー・プラーク」の精神を取り入れ、2016年度より「軽井沢ブルー・プラーク」制度を開始し、初年度に30件、2017度に30件が認定されました。

■ 「軽井沢ブルー・プラーク」認定のポイント

セキスイハウスA型は玄関・居間・台所・浴室・トイレを備えた本格的住宅として開発された工業化住宅の国産第一号である。本建物は国産プレハブ住宅の起源となる姿が残された、国内唯一の建物である。



山崎家及び白井家別荘（セキスイハウスA型）



「軽井沢ブルー・プラーク」銘板

「山崎家及び白井家別荘（セキスイハウスA型）」は、1963年、軽井沢の別荘地に建てられ、主に避暑を目的とした別荘として現在まで55年にわたり使用されています。

現在住宅産業をけん引しているプレハブ住宅（主に構造体や外装材などを工場で生産することで高い品質を確保し、現地で組み立てる住宅）は、1960年頃から本格的に開発、販売が始まりました。当初は勉強部屋のような附属建築物がほとんどでしたが、このセキスイハウスA型は、水周り設備を備えた「国産工業化住宅」の第一号と言えます。国産工業化住宅の起源となる姿が残された、国内唯一の住宅であることから、今回「軽井沢ブルー・プラーク」に認定されました。

本住宅は、安全・安心・快適な暮らしを提供し続けているプレハブ住宅産業の黎明期の逸品であり、238万戸を超える建築実績を重ねる当社の原点とも言える存在です。的確なメンテナンスにより価値を持ち続けるストック住宅の好例として、今後も保存管理に努めてまいります。

■ 「山崎家及び白井家別荘（セキスイハウスA型）」概要

- ◇ 所在地 長野県北佐久郡軽井沢町
- ◇ 構造及び形式 軽量鉄骨造平屋建、金属葺、建築面積約34㎡
- ◇ 建設年代 1963年（昭和38年）
- ◇ 有形文化財登録日 2016年8月1日（登録番号:第20-0501号）

文化庁より有形登録文化財（建造物）に認定

http://www.sekisuihouse.co.jp/company/topics/datail/_icsFiles/afieldfile/2016/03/15/20160315.pdf